

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	2023 年 7 月 31 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 東京都千代田区神田和泉町2番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 日本通運株式会社 代表取締役社長 堀切 智
環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	NXグループ環境憲章
適 用 範 囲	国内全事業所
導 入 年 月 日	2022 年 1 月 1 日
認 証 番 号	
基 本 方 針	企業の社会的、公共的使命を自覚し、「良き企業市民」として環境経営を実践することにより、地球環境保全に積極的に貢献する。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	1. グリーン物流を推進する。 2. 資源・エネルギーの効率的活用に努める。 3. 環境関係法令を遵守する。
目標を達成するための取組の内容	1. 環境にやさしい物流の実践を通じて、温室効果ガスの削減等環境負荷低減を目指す。 2. 省資源、省エネルギー、3Rの推進による循環型社会の構築に努める。 3. 再生可能エネルギーの利用を拡大する。 4. 省エネ法や自治体条例等環境関連法令に的確に対応する。
目標を達成するための取組の進捗状況	1. 環境配慮型商品・サービスや梱包資材の開発に努める。 2. ポスターを掲示して、全従業員で取り組む。 3. 書類のペーパーレス化を進める。 4. ごみの分別仕分けを徹底する。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	令和4年度については事業所からのCO2排出量は前年から+29.3%の増加となり、輸送車両からのCO2の排出量は-4.1%の減少となった。全体としては+3.9%の増加となった。新規倉庫の稼働が大きく影響した結果となった。
事業活動に係る法令の遵守の状況	廃棄物関連法規を中心にコンプライアンスの順守を最優先に取り組んでいます。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	関連会社を含めたNXグループ全体で同一のシステムにより運用する。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。